CAMBRIDGE

Cambridge International AS & A Level 科目紹介
English Language（英語学）9093[1]

このシラバスを選ぶ理由

Cambridge International AS & A Level English Language は、批判的分析、論証の構築、知識と理解の提示、そしてバランスよく明確かつ流暢な英語表現など、幅広い分野で活用できる汎用的なスキルを育成します。学習者はこれらのスキルをさまざまな教科や実社会の場面で活用できます。

この科目では、学習者が次のような資質を身につけられるよう支援します:

- **自信のある学習者**：自信をもち、主体的かつ自由な発想で文章やアイディアを探究し、自らの洞察を深めることができる
- **責任ある学習者**：主体的に学びに取り組み、言語に関する専門的な理解を深めることで、自分自身、他者、そしてより広い社会への理解を深めることができる
- **内省的な学習者**：絶えず変化するさまざまな状況の中で、言語の使用者および受け手としての自分自身を批判的かつ鋭い視点で振り返る力
- **革新的な学習者**：創造性、独創性、そして柔軟な思考を組み合わせながら、課題や文章に取り組むことができる
- **主体的に関わる学習者**：言語が個人、社会、そしてグローバルな重要課題において果たす役割を認識し、探究するとともに、その学びを教室の外でも活用することができる

シラバスの目的

この科目は、生徒が次の能力を身につけることを目指しています：

- 言語としての英語について学習することを楽しむ
- 多様な読者に向けて書かれた、幅広い形式、文体、文脈の文章に対して批判的かつ十分な知識に基づいた自分自身の見解を形成する
- 効果的、創造的、正確かつ適切な文章を書く
- 相互に関わり合う読解・分析・調査のスキルを育成する
- 英語学研究における概念や手法への理解を深める
- 言語学および関連分野のさらなる学習の基礎を築く

学習内容の概要

ASレベルでは、多様な文章に対して批判的かつ情報に基づいた応答を行う力を養います。また、指定された目的や対象読者に応じた文章を作成します。

Aレベルでは、さらに言語変化、子どもの言語習得、世界における英語、言語と自己との関係などを学習し、しっかりとした言語学の基礎を築きます。

Cambridge International AS & A Level English Languageシラバスを履修する学習者は、以下のようなスキルと理解を身につけます：

- 正確で、流暢かつ一貫性のある文章を書き続ける力
- 指定された形式、文体、文脈、および対象読者に適した、根拠のある応答を作成する力
- 具体的な事例と幅広い学習内容の双方に基づいて、知識と理解を的確に伝える力

裏面につづく ▶

1. この内容は、Cambridge International AS & A Level English Languageシラバス（2027〜2028年版）に基づいています。最新の更新情報や詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.cambridgeinternational.org/programmes-and-qualifications/cambridge-international-as-and-a-level-english-language-9093/

CAMBRIDGE

Cambridge International AS & A Level 科目紹介
English Language（英語学）9093

評価目標

評価目標	ASレベルの配点（%）	Aレベルの配点（%）
多様なテキストを読み、理解する	15	20
多様な読者・目的に応じて効果的かつ創造的に書く	45	30
著者や話者の形式・構成・言語の選択が意味や文体に与える影響を分析する	40	20
言語学的課題・概念・方法論を理解する	0	20
多様な情報源の言語データを分析・統合する	0	10
合計	100	100

既習科目

この科目を履修する生徒には、Cambridge IGCSE相当の英語科目を修了していることが推奨されます。

試験時期

試験は6月と11月のシリーズで受験できます。

授業としての学習時間

ケンブリッジ国際ASレベルの科目は、通常180時間の指導学習時間（教師の指導のもとで進める学習時間）が推奨されます。ケンブリッジ国際Aレベルの1科目全体では、通常、ASレベルの180時間を含めた合計360時間の指導学習時間が推奨されます。
これはあくまで目安であり、資格取得に必要な学習時間は学校の方針や生徒の既習科目によって異なります。

© Cambridge University Press & Assessment 2026